



校友会報

vol.89



八幡大学時代…

変わらぬ想い

枝光学舎

広がる未来

九州国際大学として…



平野学舎

お知らせ

会報は2027年以降「郵送希望」の方のみお届けいたしますので、
郵送ご希望の方は右のQRコードよりお申し込みください。

https://kiu-tachibanakai.com/kaiho_confirm.php



もくじ

Kyushu international university an alumni association "TACHIBANAKAI" PRESS.

- 02 九州国際大学 学歌／もくじ
- 03 九州国際大学 理事長・学長ごあいさつ
- 04 九州国際大学同窓会橘会 会長・新役員あいさつ
- 05 九州国際大学同窓会橘会 近郊支部長会議／理事会・臨時理事会／幹事会／総会
- 07 2025年度 事業報告
- 09 2026年度 事業計画
- 10 2025年度から2026年度 会計報告
- 11 2025年度 九州国際大学「市民講座・市民相談」講座
- 12 叙勲受章者／同窓会資格取得褒賞金授与者の声／令和7年度同窓会資格取得褒賞金授与者
- 13 前同窓会長・理事長・役員 退任あいさつ
- 14 2025年 九州国際大学同窓会橘会 支部総会・支部だより
- 16 OB投稿
- 17 卒業式／入学式／第71回橘祭 「共創飛翔」／サッカー部入団会見
- 18 九国大スポーツ
- 19 奨学生選考について／2025年 終身会費納入者
- 20 募金募集要項
- 21 納入者ご芳名
- 22 九州国際大学同窓会橘会 各支部支部長名簿／編集後記
- 23 看護学部設置構想／卒業年次生・在学生の声

1.
平和の鐘は高鳴りて
輝く春に開かれし
我が学舎の使命こそ
弥生の空に照り映えて
自由の光弥増さむ
自由の光弥増さむ
2.
北九州に堂々と
高く聳ゆる学園は
橘繁茂る我等が母校
馥郁として匂ふかな
皆人求め来たらなむ
皆人求め来たらなむ
3.
真理の探究目指しつつ
敬と愛とを身に修め
永久の平和を築くべし
手を振り進め我が友よ
固く結びて進まなむ
固く結びて進まなむ



学校法人九州国際大学 理事長 北村 昌之

MASAYUKI KITAMURA

令和7年6月27日付で学校法人九州国際大学理事長に就任しました北村昌之です。よろしくお願いいたします。

さて、本年はこれまで1年以上にわたって準備してきた改正私立学校法が施行されました。この改正は、相次ぐ私立学校法人の不祥事や、ガバナンス機能の不全への社会的批判から行われたものです。主な内容はガバナンスの強化と透明性向上です。理事会、評議員会の役割と責任を明確にし、透明性を持った学校運営を行うことが求められます。この改正法に基づく新理事会、新評議員会も本年6月末より発足しました。

現在、学校法人を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。その根本原因は、わが国そのものが抱える少子化の問題です。右肩上がりの成長をした時代から社会が縮小する時代への変化に対して学園がどのように対応するかということが問われています。北九州市の出生数から推測すると、大学入学の18歳人口は10年後には12%、15年後には25%減少します。15歳人口は10年後には20%、15年後には37%減少すると予測されます。加えて、生成AIの革新的発展やIoTの進歩等により社会に求められる人材も大きく変化しようとしています。これからの学生に選ばれる大学になるためには、まず現実を直視し正しく分析し、10年後、15年後の大学のあるべき姿を明確にする必要があります。そして、方向が定めれば、戦略・戦術を駆使して改革を進めなければなりません。

これまで100年近い歴史を持つ本校のレジリエンスが試される時と考えています。同窓会の皆様方には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



九州国際大学 学長 櫻井 弘晃

HIROAKI SAKURAI

同窓会橘会の皆様におかれましては、日頃より、学生、大学に多大なご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ところで、大学を取り巻く厳しい環境の中、生き残りをかけて、本学では新学部設置を目指しております。そのポイントは、地域に役立つ学部です。

新学部の設置は、特定の分野を志望する新たな受験生の確保に有効ですし、本学の定員充足に寄与するものです。現在、設置に向け準備作業を鋭意努力しております。

また大学全体としても、高校生から「選ばれる大学」になることを目指し、まず手始めに理事長ご発案のもと、試行的に基礎教育センターで教養改革プログラムの準備をしています。これは、社会に必要な基本スキル(英会話、簿記、AI等)を付加価値として学生に身につけさせ、何を教わったのかではなく、何を学んだか、何が身についたのかを就活の面接で堂々といえる学生を育てる試みです。高校時代は成績の振るわなかった学生が、本学で、誰にでも誇れる付加価値を身につけ、それを出身高校に披露できれば、きっと本学の評判は高まり、志願者増につながります。

このように高校生にとって魅力的な大学になるよう教職員一丸となって頑張っておりまして、今後ともよろしくお願いいたします。

末筆となりますが、同窓会橘会のご発展をご祈念申し上げますとともに、引き続き大学へのご支援をお願い申し上げ、学長の挨拶とさせていただきます。



九州国際大学同窓会橘会 会長 尾崎 徹也

TETSUYA OZAKI
(I法 S53卒)



この度、九州国際大学同窓会橘会会長に就任しました尾崎で御座います。少しだけ自己紹介と今後の抱負などを語らせて頂きたいと思っております。私と同窓会との関りは2012年度から今年度まで13年間八幡支部の支部長を拝命頂いてまいりました。その中で感じているのは、同窓会は支部有っての同窓会であると言う事です。それゆえ支部の立場から同窓会員の繋がりをや支部の財政課題などを痛感している次第です。また抱負を語る前にまず確認しておかなければならない事があります。同窓会の目的として同窓会会則には「会員相互の親睦と啓発を図ると共に、九州国際大学の発展に寄与する」とあります。言い換えると会員相互の親睦と啓発が一番の目的で、二番目が九州国際大学の発展で有ると言う事です。要は同窓生が主役だと言う事です。これを確認した上で二点の抱負を語りたいと思っております。まず一番目は会則に有る通り同窓生を主役とした事業を行って行く事。二番目に早急な課題として同窓会の赤字財政を立て直す事です。先の総会でも今年度の予算案が提出されましたが今までにない雑収入380万円を予算案としております。言い換えると定期収入では足りず赤字財政である事は明らかです。やらなければならない事は定期収入内で事業計画を立て赤字体質を解消する事です。この難局は同窓会役員と会員が一丸となって乗り越えて行かなければなりません。極力省けるものは省き、必要なもののみを行い内容を充実させみんなで健全な財政体制を図っていきたいと思っております。その為には、皆様方の屈託のないご意見やご提案を頂き積極的に会にご参加願いたいと思っております。伝統と歴史に支えられた会でございます。今まで以上に会員の皆様と共に歩んでいきたいと考えております。何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

九州国際大学同窓会橘会 新役員紹介



副会長・財務部会会長 藤村 篤司 (I経 S61卒)

同窓会橘会の会員の皆様はじめまして。この度、九州国際大学同窓会橘会の副会長、財務部会会長を拝命いたしました藤村篤司と申します。初めての就任になりますので、先ずは、私の経歴を簡単に紹介いたします。

私は、昭和61年I部経営を卒業しました。在学中はスキー同好会に所属し、学校の体育実技の後期スキーを選択された方の授業の手伝いなどもさせて頂きました。橘会とは同級生の会社の上司の方が副会長をされており、その関係で下関支部で参加をさせて頂いたのが始まりです。今まで、2年間は財務部に所属させて頂き、本年2月には下関支部の支部長をさせて頂くこととなりました。さて、これから担当させて頂く、財務部会ですが、総会にご出席された方はお分かりと存じますが、現在、定期収入では維持できず、特別会計を流用しなんとか維持しております。つまりは通常の収入では不足し赤字体制です。このような時に財務部会長をさせて頂く事となり、不安と良くて行こうという希望と両方ではございますが、皆様の期待にお応えできるように頑張っております。今後、赤字体制を脱却すべく、簡略出来るものは簡略し、必要なものはより充実させていく手伝いをさせて頂き、また今までとは違う新しい事も出来たらと思っております。まだまだこれからですので、先ずはご迷惑をお掛けしない様に精進してまいります。どうか皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



会 計 吉村 恭子 (I法 S55卒)

この度、山本陽子先輩の後を受けまして、令和7年10月18日付で「九州国際大学同窓会橘会」の「会計」に就任いたしました

吉村恭子と申します。私は、昭和55年3月に八幡大学法経学部法律学科を卒業し、同年4月から産業医科大学の事務職として定年まで勤め、その後は、同大学病院の患者給食を担当する委託会社に事務として勤務しており、現在に至っております。今回、このような大役を仰せつかり、大変身の引き締まる思いです。42,356名の会員の皆様からお預かりした会費を正確に管理し、「橘会」の健全な運営を心掛け、任務を遂行してまいりたいと思っております。尾崎新会長の下、役員一致団結して取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

役 員

役 職	会 長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会 計	会計監査	会計監査
卒 年	S53	H10	S60	S50	S58	S61	S55	S58	H30
部・科	I 法	I 経営	I 法	I 経営	I 法	I 経営	I 法	I 経	院 法
氏 名	尾崎 徹也	松尾 浩嗣	山口 克也	田村 昭典	柳田 浩司	藤村 篤司	吉村 恭子	久野 靖典	佐藤 宏行

2025年度 九州国際大学同窓会橋会

近郊支部長会議

- 日時：令和7年7月12日(土) 13時00分～14時00分
- 会場：九州国際大学 1号館2階大会議室
- 司会：副会長(総務)柳田 浩司 副会長(組織)田村 昭典
- 書記：(総務部会) 高田 晃浩

- 開会のことば 黙祷 学歌斉唱
- 出席者の紹介
北村昌之理事長、櫻井弘晃学長、權堂健司顧問の紹介
權堂氏からは本学理事長につき2年4カ月任期満了の報告と謝意が表された。
- 会長あいさつ
北村理事長へのご協力をお願いされた。
- 理事長あいさつ
2年後の看護学部、3年後の情報工学部の設置について熱意ある想い、ご支援をお願いされた。
- 学長あいさつ
令和6年度入学定員500名、内入学者数435名、収容定員2,000名、内在籍者数1,742名、近年の就職状況と令和6年度卒業生及び業種別・地域別就職状況については、福岡(北九州市外)35%、北九州市22%、関東17%、近畿5%、山口4.6%と報告された。
- 新役員の選考について

任期満了者、副会長(財務)高木格氏、会計山本陽子氏の後任について役員選考委員長泉日出夫氏より6月12日、6月23日に委員会を開催し、推薦者を選考したことの報告がされた。

- 理事・幹事の推薦について
廣瀬会長より2026.2027年理事・幹事の推薦について、理事51名、幹事55名、計106名があった事の報告とお礼を述べられ承認された。
- 総会出席券のお願いについて
柳田副会長より次の説明がなされ承認された。
①議案書4項の2026年度九州国際大学同窓会橋会総会出席券割当・販売数により近郊支部には総数320枚の販売をお願いした。
②会費は6,000円
- 情報交換について
田村副会長より次の説明がなされ承認された。
①支部活動の報告 関東支部等のご意見への回答
②ホームページの活用(広報部会)
③企業説明会(仮)学生自治会との意見交換会
- その他報告
柳田副会長より、理事会(9月5日)、幹事会(9月19日)、総会(10月18日)、大学祭(11月29日30日)、大学寄付金につき説明がなされ承認された。
- 閉会のことば

理事会

- 日時：令和7年9月5日(金) 18時00分～19時39分
- 会場：九州国際大学 KIUホール
- 書記：(総務部会) 高田 晃浩

開会のことばは、総務部会理事加藤雅信氏が務め、出席者全員による物故者会員の黙祷、学歌斉唱が行われた。

最初に会長廣瀬正登氏から北村昌之理事長、櫻井弘晃学長、權堂健司顧問の出席者に謝意が述べられた後あいさつがあり、次に理事長から、日頃大学に対するご支援ご協力に感謝を述べられ、厳しい環境ではありますが看護学部・情報工学部(仮称)を開設し、成功させたい、ついては更なるご厚情の程をお願いされた。

次に学長からは、大学祭(橋祭)に向け学生が熱心に取り組んでいる旨紹介があり、また「地域連携センター」における市民講座で地域貢献に注力してきていること、学科のゼミ活動を通じ社会に有益となる人材育成を行っている旨述べられた。

続いて議長に辻本一夫氏を選出し、書記に高田晃浩氏を指名後、本日の理事会出席状況を理事50人の内32名の出席である旨の報告がなされた。

議長により第1号議案から第3号議案までは関連議題として審議を行いたい旨を議場に諮られ、満場一致により承認され議題に入った。

- 第1号議題 2025年度事業報告について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より「事業の総括」の説明があり、各部会の活動内容が報告された。
- 第2号議題 2025年度決算報告について
会計山本陽子氏より、一般会計決算書・繰越金明細書・特別会計決算書について報告された。

第3号議題 会計監査報告について
会計監査佐藤宏行氏より会計監査実施報告がされた。

ここで、議長より第1号議題から第3号議題までについて質問がないか議場に諮る。尚、理事5名(大下敏幸氏、西澤竹之氏、藤村篤司氏、山中貴彦氏、泉日出夫氏)より意見があり、その後挙手による採決が行われ満場一致により承認された。

第4号議題 文書管理規程の制定について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より説明され、満場一致により承認された。

第5号議題 事業計画(案)・第6号議題
2026年度予算案については、当日提出がなかったため審議できず、事業計画案と併せて後日臨時理事会で審議することとされた。

第7号議題 新役員の選考について
役員選考委員長泉日出夫氏より説明され満場一致により承認された。

第8号議題 理事・幹事交代について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より説明され、満場一致により承認された。

議長退任。

連絡事項 ①大学祭 学生支援部会長 山口克也氏

閉会のことば 総務理事加藤雅信氏。終了19時39分

臨時理事会

- 日時：令和7年9月12日(金) 18時00分～18時39分
- 会場：九州国際大学 KIUホール
- 書記：(総務部会) 高田 晃浩

開会のことばは、総務部会理事加藤雅信氏が務められた。

最初に会長廣瀬正登氏から「10月18日で退任させていただきます。」と辞意を申し述べられた。

続いて議長に辻本一夫氏を選出し、書記に高田晃浩氏を指名後、本日の臨時理事会出席状況を理事50名の内25名の出席である旨の報告がなされた。

議長より第1号議案から第2号議案までは関連議題として審議を行いたい旨を議場に諮られ、満場一致により承認され議題に入った。

- 第1号議題 2026年事業計画(案)について、会長廣瀬正登氏より橋会の運営方針・内容と抱負を議案書にそって説明された。
- 第2号議題 2026年度予算(案)について、会長より予算(案)の収入の部、特別会計戻入金と雑収入の科目について説明をされた。

支出の部については各部会長から個別に説明がされた。財務部会からは会計ソフト、広報部会からはSNSへの移行やウェブ会議、会報のスリム化、発行部数の削減、ホームページ管理費、広告賛助等に係る説明。

ここで、議長より第1号議題から第2号議題までについて質問がないか議場に諮る。理事森脇真司氏より、特別会計積立金について質問があり、廣瀬会長が回答する。その後挙手による採決が行われ満場一致により承認された。

第3号議題 新役員選考について
役員選考委員長泉日出夫氏より、会長廣瀬正登氏の辞任の申し出を受けて、9月17日(水)に役員選考委員会を開催することを決定した。

第4号議題 その他
なし

議長退任

閉会のことばを総務理事加藤雅信氏が述べられ終了した。

2025年度 九州国際大学同窓会橋会

幹事会

- 日時：令和7年9月19日(金) 18時00分～19時05分
- 会場：九州国際大学 KIUホール
- 書記：(総務部会) 高田 晃浩

開会のことばは、総務部理事小林泰生氏が務め、出席者全員による物故者会員の黙祷、学歌斉唱が行われた。

最初に会長廣瀬正登氏から北村昌之理事長、櫻井弘晃学長、權堂健司顧問の出席者に謝意が述べられ、会長職を総会当日で辞することの表明をされた。理事長、学長挨拶、続いて議長に総務部会理事小野純司氏を選出し、書記に高田晃浩氏を指名後、本日の幹事会出席状況を理事47名の内9名の出席である旨の報告がなされた。

議長より第1号議案から第2号議案までは関連議題として審議を行いたい旨を議場に諮られ、満場一致により承認され議事に入った。

第1号議題 2025年度事業報告について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より「事業の総括」の説明があり、各部会の活動内容が報告された。

第2号議題 2025年度決算報告について
会計山本陽子氏より、一般会計決算書・繰越金細書・特別会計決算書について報告された。

第3号議題 会計監査報告について
会計監査久野靖典氏より会計監査実施報告がされた。

ここで、議長より第1号議題から第3号議題までについて質問がないか議場に諮る。拍手による採決が行われ満場一致により承認された。

第4号議題 文書管理規程の制定について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より説明され、満場一致により承認された。

議長より、第5号議題から第6号議題までは関連議題として審議を行いたい旨を議場に諮られ、満場一致により承認され議事に入った。

第5号議題 2026年度事業計画(案)について会長廣瀬正登氏より説明された。

第6号議題 2026年度予算(案)について会長廣瀬正登氏より説明された。
各部については部会長によることとされた。

ここで、議長より第5号議題から第6号議題までについて質問がないか議場に諮る。拍手による採決が行われ満場一致により承認された。

第7号議題 新役員の選考について
役員選考委員長泉日出夫氏より説明がなされ満場一致により承認された。

第8号議題 理事・幹事交代について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より説明がなされ、満場一致により承認された。

議長退任。

連絡事項 ①大学祭 11月29日(土)、30日(日)

閉会のことば 総務部会理事小林泰生氏。終了19時05分

総会

- 日時：令和7年10月18日(土) 16時30分～18時41分
- 会場：JR九州ステーションホテル小倉 5階飛翔の間
- 書記：(総務部会) 高田 晃浩

開会のことばは、総務部会理事森脇真司氏が務め、出席者全員による物故者会員の黙祷、学歌斉唱が行われた。

最初に会長廣瀬正登氏から、北村昌之理事長、櫻井弘晃学長、田原顧問、岡村顧問、權堂顧問の御臨席に謝意が述べられた。理事長、学長のあいさつでは看護学部創設への熱意を話された。

続いて議長に、総務部会理事辻本一夫氏を選出し、書記に総務部会理事高田晃浩氏を指名後、本日の総会出席状況を197名の出席である旨の報告がなされた。

議長より第1号議題から第3号議題までは関連議題として審議を行いたい旨を議場に諮られ、満場一致により承認され議事に入った。

第1号議題 2025年事業報告について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より「事業の総括」の説明があり、各部会の活動内容が報告された。

第2号議題 2025年決算報告について
会計山本陽子氏より、一般会計決算書・繰越金細書・特別会計決算書について報告された。

第3号議題 会計監査報告について
会計監査佐藤宏行氏より会計監査実施報告がされた。

ここで議長より第1号議題から第3号議題までについて質問がないか議場に諮る。挙手による採決が行われ満場一致により承認された。

第4号議題 文書管理規定の制定について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より説明、満場一致により承認された。

第5号議題 2026年度事業計画(案)について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より説明された。

第6号議題 2026年度予算(案)について
各部会長より個々に説明された。

ここで議長より第5号議題から第6号議題までについて質問がないか議場に諮る。

質問1. 特別会計の使途について 筑豊支部上地隆氏

質問2. 事業計画を真剣に考えて頂きたい 大分県支部藤原和敏氏
満場一致により承認される。

第7号議題 新役員の選考について
廣瀬正登氏の会長退任表明に伴う選考や任期満了の後任についても詳細に経歴等を紹介し報告がされた。

第8号議題 理事・幹事交代について
副会長(総務部会長)柳田浩司氏より説明がされた。大分県支部長江藤英氏より、各県に理事を配置してもらいたいとの要望があった。

その他、大学祭のご案内と大学寄付金について連絡し閉会。18時41分



事業の総括

2023年(令和5年)10月28日(土)九州国際大学同窓会(橘会)の定時総会から今年で2年目を迎えました。この2年間では同窓会の目的1.本学の発展に寄与するについて、2027年4月に「地域医療に貢献する看護学部の新設を目指して」学部長の人選が現在進められまた実習病院については地域内4病院との「包括地域連携協定書」が2025年6月下旬に締結される運びとなりました。同窓会員の一人としてこの重要案件に関りを持つことができたことを大変誇りに思います。

また、同窓会目的の「2.会員相互の親睦と啓発を図る」については、本学の関係者をはじめ、本部5部会「総務部会・財務部会・組織部会・広報部会・学生支援部会」そして同窓会事務局員の協力を得て、2023年11月以降、関東支部・関西支部をはじめ18支部の総会に三役・理事等が出席し様々なご意見・叱咤激励をいただきましたこと心から感謝を申し上げる次第です。

事業報告について

1.各支部への活性化支援金について

2024年度に地域支部21支部・職域支部2支部へ支部活性化支援金10万円を支給いたしました。2025年7月現在、活性化支援金が活用され関東支部をはじめ18支部にて支部総会が開催されました。なお残りの5支部の内2支部総会の開催が決定され、3支部は関係者の健康上また諸事情により開催までに時間を要することになっておりますが、本部役員等が協力して推進していく事になっています。

2.同窓会奨学金支給について

- (1)2024年4月より奨学金を2万円に引き上げ、2024年は奨学金応募者数が46人となり、作文・面接を経て20人(一般学生14人・留学生6人)に支給することが出来ました。
- (2)2025年4月には昨年同様奨学金2万円の支給については、奨学金応募者数が39人となり、作文・面接を経て20人(一般学生17人・留学生3人)に、本年7月下旬に開催された認定式にて支給を開始いたしました。

3.資格取得褒賞金の支給について

- (1)勉学奨励金支給細則については、5段階評価「スーパー特A・特A・A・B・C」に、助成金は10万円～1万円以内にいたしました。スーパー特A及び特Aは、本学及び本学大学院卒業後10年以内に該当資格試験合格者にも支給(但し、令和4年3月卒業生からの適用)します。本年度は宅地建物取引士合格者3人(在学4年生)に資格取得褒賞金を同窓会事務局にて授与させて頂きました。
- (2)2021年3月本学法学部を卒業した野村秀敏氏は、その後九州大学法科大学院(既修者コース)に進学、2023年(令和5年)司法試験に初回受験で合格され、その後法曹になるために司法修習を終え、2025年(令和7年)弁護士として活躍予定です。

4.結び

同窓会橘会も2025年10月で満72周年を迎えます。そして同窓会員数も42,370人を数えるまでになりました。これまで多くの諸先輩のご支援・ご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。

今後同窓会は少子高齢化を迎える中で、これからも切磋琢磨して本学の発展並びに会員相互の親睦・啓発を果たして参りたいと思っておりますので、今後とも同窓会へのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。各部会の主な取組みについては、以下のとおりです。

総務部会

1.会議・懇親会の開催

理事会：2024年9月27日(金)開催
幹事会：2024年10月11日(金)開催
近郊支部長会議：2025年7月12日(土)開催

2.記念品の贈呈

卒業生：407人
入学生：446人
終身会員：対象者へ記念品を贈呈

3.市民講座・市民相談の支援

本学主催の市民講座・市民相談を支援、橘会会報第88号に活動内容を掲載

4.個人情報保護の取り組み

会員および事務局の個人情報管理について、理事間で方針・禁止事項等を協議中

5.文化事業の実施状況

本年度は講演等の文化事業は未実施

6.文書管理規程策定

財務部会

1.2025年度は財務部会を2回行いました。

- 1回目：2024年8月21日(水)
- ①2024年度 事業報告書・決算書(案)について
 - ②2025年度 予算方針・予算ヒヤについて
 - ③2025年度 事業計画(案)・予算(案)について
- 2回目：2025年2月20日(木)
- ①2025年度上期決算について
 - ②勘定科目の設定について

2.会計監査2回実施。

- ①9月10日(火)2024年度全期会計監査
- ②3月18日(火)2025年度上期会計監査

3.定期預金の更新時に立会した。

4.2024年8月分から2025年7月分まで、毎月10日までに前月分の経理関係資料のチェックを行いました。

組織部会

- 1.今年度、支部総会は関東支部(毎年開催)を含め、筑豊支部、八幡支部、橘會山陽支部、宗像支部、広島県支部、若松支部、小倉支部、遠賀支部、山口支部、鹿児島県支部、大分県支部、下関支部、長崎県支部、関西支部、教職員支部、熊本県支部、戸畑支部の18支部で開催され、同窓会本部より支部活性化支援金(補助金)を支給いたしました。
- 2.各支部の充実強化に橘会報OB協賛限定広告を一般協賛広告として復活し、会報88号の広告協賛収入合計1,165,000円の5割の582,500円を支部返還金として19支部に返還し、支部活動の運営に繋がってもらいました。また、同窓会橘会ホームページにも1年間、広告協賛企業として掲載いたしております。
- 3.同窓会橘会会員名簿は本年度より、卒業時の自宅住所に追加して大学側から連帯保証人の住所を追加情報提供してもらっています。プライバシーポリシーに基づき、移動住所変更対応の支部名簿に役立てて活用してもらいます。
- 4.新規支部の立ち上げ並びに休眠支部の再興については実現に至らず、今後は引き続き後継者に継続し、活動していきたいと考えています。

学生支援部会

昨年度から同窓会奨学生の募集については、積極的に周知を行っており、給付する金額が10,000円から20,000円となったこともあり、今年度は39人の申請がありました。2025年6月14日作文試験を実施し、2025年6月21日面接試験を実施して、20人の奨学生を認定しました。2025年7月25日に奨学生認定式を開催しました。

体育会活動・文化会活動に対する助成として、SAGA国スポーツ・全障出場したウエイトリフティング部及びバドミントン部に対する助成金支給、全日本学生バドミントン選手権(個人戦)大会出場に対する助成金支給、内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯争奪全日本バドミントン選手権大会出場に対する助成金支給、文部科学大臣杯全日本大学対抗選手権大会に出場したウエイトリフティング部(男子と女子)に対する助成金の支給等、大会出場への助成を積極的に行いました。

2024年11月23日・24日大学学園祭が開催されたため、大学祭橘祭支援金を100,000円支出して支援し、学生支援部会として例年通り、学長等の来賓や同窓会に来られた方へのお茶・コーヒー等を提供しました。この学園祭の時に、初めて奨学生の方にボランティアをお願いし、2日間で5名の方がお手伝いで参加をして貰いました。

また、大学ゼミの担当教授から相談及び申請があり、法学ゼミ秋学期スポーツ大会への支援金と入門セミナー・ゼミ対抗ソフトバレーボール大会の賞品の支給支援を行いました。

広報部会

今年度は、同窓会会報88号の発刊に加え、全国の会員の皆さまにとってより魅力的な情報発信の場となるよう、九州国際大学同窓会橘会のホームページを新たに立ち上げました。

新しいホームページでは、各支部からの情報を随時更新できるようになり、よりタイムリーな情報発信が可能となりました。これにより、全国の若い会員の皆さまにも、同窓会活動に関心を持っていただけるようになりつつあります。

広報部会では、「大学の発展への寄与」「会員相互の親睦と啓発の促進」という同窓会の目的に沿って、「勇気ある変革と情熱の継続」を信条に、諸先輩方のご指導を仰ぎながら、今後も広報活動に力を入れてまいります。

同窓会の主要会議等

《2025年度》(2024年8月1日～2025年7月31日)

理事会

2024年9月27日(金) 18:00 九州国際大学KIUホール

幹事会

2024年10月11日(金) 18:00 九州国際大学KIUホール

近郊支部長会議

2025年7月12日(土) 13:00 九州国際大学 1号館2階大会議室

支部総会

《2024年》

- 広島県支部総会 10月12日(土) 18:00 「ANAクラウンプラザホテル広島」
- 若松支部総会 11月02日(土) 12:00 「栄寿司」
- 小倉支部総会 11月09日(土) 18:00 「小倉リーセントホテル」
- 遠賀支部総会 11月16日(土) 18:30 「ぶどうの樹 岡垣」
- 山口支部総会 11月17日(日) 16:00 「山口グランドホテル」
- 鹿児島県支部総会 11月30日(土) 17:00 「ホテルタイセイ」

《2025年》

- 大分県支部総会 2月15日(土) 18:30 「大分センチュリーホテル」
- 下関支部総会 2月22日(土) 16:00 「シーモールパレス」
- 長崎県支部総会 4月26日(土) 18:00 「サンプリエール長崎」
- 関西支部総会 5月10日(土) 12:00 「ホテル新大阪」
- 教職員支部総会 5月30日(金) 18:00 「九州国際大学KIU食堂」
- 熊本県支部総会 6月7日(土) 16:30 「メルパルク熊本」
- 関東支部総会 6月8日(日) 12:00 「アルカディア市ヶ谷」
- 戸畑支部総会 7月19日(土) 18:00 「中山楼」

同窓会橋会の運営方針

- 《目的》 I. 大学の発展に寄与する。
II. 会員相互の親睦と啓発を図る。

《方針》

1. 各支部との更なる連携をはかるため会員名簿の充実並びに更新を目指し、支部再生の再興を積極的に推進していく。
2. 同窓会として本学学生の地域貢献へ積極的な参加を本部役員が支援していく。
3. 奨学生認定者数の安定確保を目指すと共に各分野(教育・文化・スポーツ等)において優秀な人材を育てるため、同窓会では本学・同窓会三役・学生支援部会との連携を強化していく。
4. 会則・例規集の更新・改訂を図ると共に2026年度の発刊を目指す。
5. 九州国際大学「市民講座・市民相談」も2025年に本学園内に集約されましたので、本学と同窓会(土業支部を含む)がタッグを組み推進・努力していく。

《内容》

同窓会橋会は2026年の前期を迎え、5部会(総務・財務・組織・広報・学生支援)を更に充実させ、部会間の一層の連携を図ると共に、近郊支部総会には本部役員に出席していただき、各支部関係者との意見交換を十分に果たすと共に、同窓会本部としての使命・役割をさらに深めて参りたいと思います。

《抱負》

同窓会橋会も2025年10月で満72周年を迎えます。今後、少子・高齢化を迎え同窓会橋会の財政状況の厳しさに一段と拍車がかかる中で、同窓会橋会も80年・90年の歴史を紡いでいくため、大学の発展はもとより、SNSの活用や、収益事業への取り組みも視野に入れ、一層の発展に向けこれからも頑張っ参りますので、諸先輩方のご支援・ご協力・叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

総務部会

1. 総会の開催準備
開催日：2025年10月18日(土)
内容：総会の準備に加え、全国支部長会議・理事会・幹事会の運営も担当。
2. 記念品の贈呈
対象：入学生・卒業生・終身会費納入者
内容：記念品の企画・準備・配布を実施。
3. 個人情報保護の取り組み
重要性を認識し、以下の項目について総務部会で協議
①個人情報の定義 ②管理方法 ③利用目的
④第三者提供の制限 ⑤開示・訂正等の対応
4. 文化事業の推進
内容：講演会などの文化事業を積極的に展開。
5. 他部会に属さない関係部門の担当
対象：部会に属さない業務の管理・運営。
6. 会則・細則等の改正
目的：2026年度中に会則・例規集の一部改正を行い、改訂版を発刊。

財務部会

- 《基本方針》
健全な財政の運営を図るため、予算の範囲内で事業の見直しと経費の節減を検討する。
1. 入学生募集を応援する。
 2. 各種事業を支援する。
 3. 終身会費納入の促進に努める。
 4. 正当な経理処理を各部会長にお願いする。
 5. 財務部会を年2回行う。
1回目：8月6日(水) 各部会と2026年度予算ヒアリング
2回目：3月に上期決算と下期の事業について
 6. 会計監査を年2回受ける。(9月と3月)
 7. 会計ソフト導入

組織部会

1. 昨年まで支部総会が開催されなかった門司支部、京築支部、佐賀県支部の3支部に対して活性化支援金を活用した定期総会開催を促してまいります。
2. 同窓会ホームページの活用により、橋会報に掲載して紙ベースを無くし、軽減した印刷費、通信費、郵送費等の各費用を各支部の充実強化に充てていきます。
3. また、橋会総会議案書・橋会会報の発刊時に一般協賛広告を各支部ごとに広く募集を行い、金額に応じて各支部に還元してまいります。
4. 現役学生と卒業生との幅広い交流やゼミを通じたインターンシップ制度の活用を推進したり、四協委員会の学生自治会執行委員会(自治会)、大学祭実行委員会(実行)、体育会本部(体育会)、文化会総務委員会(文化会)との交流の機会を確保し学生にまず同窓会橋会を知って、理解してもらい、その活動に参加してもらう環境づくりを行います。この取り組みを通して卒業後、各23支部に自主的に入会してもらえるようにします。
5. 新規支部の立ち上げ並びに休眠支部(宮崎県)再興については昨年度内を目標にしていたが、延び延びになり、本年度中には結成してもらえるように引き続き粘り強く支援してまいります。

広報部会

同窓会会報89号は、2025年10月7日に厳正な入札を行い、2026年3月13日の発刊を予定しております。より充実した内容で、全国の会員の皆さまにお届けできるよう、現在準備を進めております。また、今後の会報はホームページにも掲載し、より多くの方にご覧いただけるよう工夫を重ねてまいります。

各地域支部・職域支部から積極的に情報を収集し、地元ならではの話題や、同窓会会員の活躍の様子を紹介していきます。特に、卒業間もない若い方々や女性の活躍に注目し、全国の皆さまに元気と希望を届けられる内容を目指しています。

さらに、大学祭や体育・文化活動など、本学の行事や現役学生の頑張る姿を全国に発信し、母校の「今」を感じていただけるよう努めてまいります。

今後は、デジタル技術の活用をさらに進め、動画コンテンツやオンラインイベントなど、会員の皆さまがより参加しやすく、つながりを感じられる広報活動を展開していく予定です。若い世代との交流を深めるための新たな企画にも挑戦し、橋会の活動をより多様で魅力的なものへと進化させてまいります。

学生支援部会

1. 同窓会が認定した奨学生に対する奨学金の支給を行います。
2. 在学生を中心に、また一部の卒業生に対して資格試験合格者に褒賞金を支給します。
3. 在学生の体育活動並びに文化活動あるいは地域活動に対して支援及び助成金を給付します。
4. 在学生(四協及び奨学生)との情報交換を行い、同窓会活動の周知を図るとともに、将来に向けて同窓会活動への協力を求めます。大学学園祭でのお手伝いを奨学生に依頼を行うなど、同窓会への協力と将来への同窓会加入に向けての理解を求めていきます。

奨学生選考審査委員会

- 1 奨学金を約20名に給付し、月額20,000円とします。

同窓会の主要会議等

《2026年度》(2025年8月1日～2026年7月31日)

理事会

2025年9月5日(金) 18:00 九州国際大学KIUホール

臨時理事会

2025年9月12日(金) 18:00 九州国際大学KIUホール

幹事会

2025年9月19日(金) 18:00 九州国際大学KIUホール

総会

2025年10月18日(土) 16:30 JR九州ステーションホテル小倉

全国支部長会議

2026年7月11日(土) 13:00 九州国際大学KIU食堂

支部総会

【2025年】

□福岡支部総会 2025年8月3日(日) 18:00
ちんぷんかんぷん博多店

□土業支部総会 2025年9月6日(土) 18:00
小倉リーセントホテル

収入の部

(単位：円)

科 目	2025年度予算	2025年度決算	2026年度予算
前 期 繰 越 金	11,704,857	11,704,857	6,532,475
会 費	16,260,000	17,750,000	17,090,000
特別会計繰入金	3,000,000	3,000,000	0
総会会員券収入	0	0	1,500,000
受 取 利 息	52,000	75,130	250,000
雑 収 入	263,000	1,332,839	3,873,625
合 計	31,279,857	33,862,826	29,246,100

支出の部

(単位：円)

科 目	2025年度予算	2025年度決算	2026年度予算
会 議 費	総 会 費	0	2,800,000
	幹 事 会 費	100,000	94,670
	理 事 会 費	100,000	81,729
	支 部 長 会 議 費	80,000	71,577
	役 員 会 議 費	700,000	609,924
	大 学 と の 懇 談 会	0	0
	計	980,000	857,900
事 業 費	総 務 費	2,050,000	1,536,630
	大 学 支 援 費	1,000,000	791,110
	財 務 費	207,000	214,222
	組 織 費	4,240,000	2,498,705
	広 報 費	4,240,000	4,962,003
	学 生 支 援 費	1,930,000	972,374
	奨 学 金 給 付 事 業 費	4,810,000	4,800,000
	資 格 取 得 褒 賞 費	300,000	0
計	18,777,000	15,775,044	
渉 外 費	学 内 外 関 係 費	150,000	109,000
	自 治 会 関 係 費	200,000	79,608
	計	350,000	188,608
管 理 費	事 務 所 費	670,000	663,600
	役 員 行 動 費	500,000	480,000
	勤 務 費	6,500,000	7,474,335
	退 職 引 当 金 繰 入 費	200,000	200,000
	退 職 金	0	0
	旅 費 通 信 費	800,000	1,046,767
	事 務 消 耗 費	500,000	430,036
	光 熱 水 共 益 費	95,000	90,000
	備 品 費	450,000	17,282
	雑 費	55,000	106,779
計	9,770,000	10,508,799	
予 備 費	1,300,000	0	
合 計	31,177,000	27,330,351	
繰 越 金	102,857	6,532,475	
総 合 計	31,279,857	33,862,826	

特別会計積立金

科 目	特別会計積立金		
内 訳	2025年度決算	2026年度増・減	2026年度見込
運 営 資 金 積 立 金	93,000,000	0	93,000,000
退 職 引 当 積 立 金	400,099	300,000	700,099
合 計	93,400,099	300,000	93,700,099

2025年度(第22回) 九州国際大学「市民講座・市民相談」後期講座

	回数	開催日	講義内容	主任講師名
第22回	1	2025年 10月25日	高齢者に関する法律問談(身元保証、相続、信託、死後事務委任などを中心に)	小野 純司 弁護士
	2	11月 8日	租税法と私法(入門準備②) ～家族法と税の事例紹介～	志岐 信和 税理士
	3	11月22日	サラリーマンと税金	永石 篤 税理士
	4	12月13日	労働条件の不利益変更について	久野 靖典 社会保険労務士
	5	2026年 1月10日	相続の基礎と手続きについて	三代 毅昭 司法書士
	6	1月24日	厚生年金について	稲田 成龍 社会保険労務士
	7	2月14日	遺言について	山田 剛 司法書士
	8	2月28日	暮らしの中の年金と保険(後編)	井口 昭彦 社会保険労務士
	9	3月14日	身近な法律相談②～自転車事故を題材に～	井上 圭章 弁護士
	10	3月28日	憲法から学ぶ各国の歴史	小野 純司 弁護士

2025年度(第21回) 九州国際大学「市民講座・市民相談」前期講座

	回数	開催日	講義内容	主任講師名
第21回	1	2025年 4月26日	時事がよくわかる法律講座① 日本国憲法と選挙	小野 純司 弁護士
	2	5月10日	時事がよくわかる法律講座② 刑事事件入門	小野 純司 弁護士
	3	5月24日	成年後見・高齢者の財産管理について	平田 輔 司法書士
	4	6月14日	租税法と私法(入門①)	志岐 信和 税理士
	5	6月28日	身近な法律相談～インターネット上でのトラブル～	井上 圭章 弁護士
	6	7月12日	国民年金について	稲田 成龍 社会保険労務士
	7	7月26日	資産税(相続・贈与及び譲渡所得)・申告と調査	西澤 勉 税理士
	8	8月23日	社会保障制度としての年金と保険	井口 昭彦 社会保険労務士
	9	9月13日	不動産と登記について	三代 毅昭 司法書士
	10	9月27日	時事がよくわかる法律講座③ 株式会社と有価証券の仕組み	小野 純司 弁護士



九州国際大学地域連携センター市民講座・市民相談では、相続・税金・不動産などを中心に、「日常生活のトラブル事例」や「知っておくと役立つ身近な法律知識」について、実務家による90分の講義を行い、その後に個別相談を受け付けています。本講座は、地域連携センターがこれまでコムシティ黒崎内の本学サテライトキャンパスで実施していたものを、地域連携センターが本学キャンパス内へ移設したことに伴い、本学2号館・講義棟にて開催する運びとなりました。従前の教室は手狭であったため受け入れ人数に制限を設けざるを得ませんでしたが、移設後はより多くの市民の方々を受け入れることが可能となり、広くリーガルサービスを提供できる環境が整いました。令和7年度前期の市民講座・市民相談の実施報告会では、全10回の出席率の平均が71%、平均出席者数が45名であったことが報告され、市民の方々の身近な法律問題への関心の高さがうかがえました。また、報告会に参加した受講生からは、「個別相談を受けて安心した」「今後も継続して受講したい」などの声が寄せられ、講座に対する満足度と共に皆様の講座受講継続への強い意欲が示されていました。

祝 受章おめでとうございます



令和7年度秋
旭日双光章

中村 三千人様

第一法経学部 法律学科
昭和45年卒業

「旭日双光章」を受章して

今回、昨年(令和7年)11月19日皇居において天皇陛下より「旭日双光章」という栄誉を賜りました。

このうえもない喜びと感謝の気持ちでいっぱいでございます。

私は、平成6年(38歳)に熊本県天草の小さな町の町議会議員として初当選しました。その当時、右も左もわからない自分を多くの皆さん方からご指導いただき議員になれたわけですが、2期、3期と議員活動をしながら常に思っていた事は町民の幸せは何か?このようにすれば喜ばれる、1人1人の笑顔が見たいために続けてこられたと思います。

3期目の半ばで、平成の大合併があり平成18年(天草2市8町)で人口10万人の天草市でスタートをしたわけですが、その当時、私の有志・同志の皆さんの勧めもあり天草市議会議員として当選する事ができ、その後4期(16年)つとめさせていただきます。

この章をいただいた時、28年間の議員生活を振り返り、人生の中で半分は政治家であった自分が皆さん方に言える事は、常に前を見ながら振り返る事なく前向きな考え・行動をすべきであると思っております。

長々と私の人生論であります、皆様方も身体に注意され健康でえられる事を願います。



令和7年度春
黄綬褒章

山上 誠二様

第一法経学部 経済学科
昭和46年卒業

黄綬褒章受章に寄せて

このたび、黄綬褒章の栄に浴することとなり、身に余る光栄に深く感謝申し上げます。長年携わってまいりました水産物卸売の仕事に対し、このような評価を賜りましたことは、私自身の力ではなく、ひとえに多くの皆様のご支援とご指導の賜物であると痛感しております。

大分魚市株式会社にて業務に従事して以来、地域の食を支える水産物流通の現場で、日々の業務に誠心誠意取り組んでまいりました。生産者の皆様が丹精込めて育てられた水産物を、確かな品質で消費者の皆様へ届けること。その責任の重さを胸に、仲卸業者の方々、関係機関の皆様とともに歩んできた年月は、私にとってかけがえのない経験であります。

市場を取り巻く環境は大きく変化し続けておりますが、その中で求められる役割を果たすべく、社員一同と力を合わせ、取引の透明性向上や衛生管理の徹底、次世代を担う人材育成など、できる限りの取り組みを進めてまいりました。今回の受章は、こうした日々の積み重ねを支えてくださった皆様への章でもあると受け止めております。

この栄誉を励みとし、これからも地域の水産物の発展に微力ながら尽力してまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

末筆ながら、これまで支えてくれた家族、共に働く社員の方々、並びに地域の皆様に深く感謝申し上げます。

同窓会資格取得褒賞金授与者の声

■ 宅建試験合格者 ■



藤村 寛太

九州国際大学法学部法律学科3年藤村寛太です。

私はこの度、令和7年度の宅地建物取引士試験に合格しました。私がなぜ合格することができたのかについて私なりに考えました。

最初に私がなぜ宅地建物取引士試験を受験しようと思ったのかについてです。私はとても勉強が苦手でした。学校の成績も全くよくなくて単位を落とした講義もかなりありました。

このまま何にも出来ないまま大学を卒業して大丈夫なのかと少し心配になり資格試験に目をつけました。ですが資格試験といっても様々あり悩んでいるときに、たまたまバイトが同じだった先輩に「宅建士目指してみれば?」といわれたのがきっかけで勉強を始めました。

私の勉強方法としては、毎週水曜日と金曜日に学校で行われていた宅建講座を受講していました。最初は分からない所だらけでしたが、分からないところがある度に先生や先輩が優しく教えて下さり、一步一步着実に少ない時間で楽しく理解できるようになっていきました。短い時間で効率よく勉強することができ、焦らずにのんびり自分のペースで進

めることができました。

そんな中でも大変だったと思う事としては、苦手分野の理解の仕方です。私がどうやって乗り越えたかという法律の意味や制度の趣旨を根本から考え、具体的な事例を頭の中にイメージしていきました。そうすることで応用問題が出題されても柔軟に考え対応することができました。

私が試験に合格した時の感想としては、素直にとても嬉しい気持ちと、より難しい試験にチャレンジしたいという気持ちでした。宅建試験は合格率が15%から18%の少々難しい資格ですが、それを上手に乗り越えることができればとても自信につながりますし、就職などの幅も広がると思います。次年度は私にとって本命となる司法書士試験(合格率約5%)に挑んでまいります。また近接領域にある行政書士の資格も取得し、少しでも対応する法領域を広げ社会的貢献に寄与していきたいと考えております。

最後にこれまで私を支え励まして下さった家族を含め多数の関係者の皆様にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

令和7年度 同窓会資格取得褒賞金授与者

宅地建物取引士

法学部 藤村 寛太 (3年)

法学部 浦松 龍誠 (1年)

行政書士

法学部 古本 玲二 (3年)

前同窓会長・理事長・役員 退任あいさつ



前会長
廣瀬 正登
(I法 S45卒)

こんにちは、お元気ですか、第8代目の同窓会長を務めました廣瀬でございます。

一期2年という短い期間ではありましたが、本学そして多くの同窓会員諸先輩諸氏・事務局皆さんの協力を得て務め上げることが出来ましたこと改めて感謝とお礼を申し上げます。

さてこの2年間、同窓会の目的として、1.大学の発展に寄与するでは、2027年4月本学に看護学部新設への一員として関わりを持つことが出来、現在新設への業務内容が進行しています。2.会員相互の親睦と啓発を図るでは、地域支部21支部・職域支部2支部へ10万円の活性化支援金をお渡しすることができました。また学生への奨学金も1万円から2万円に増額し、広く学生の皆さんにお渡しすることが出来ました。そして、令和6年度8支部・令和7年度18支部の支部総会に出席して、多くの同窓会員諸氏の皆さんと交流を深め貴重な体験・経験・叱咤激励を頂きましたこと心から御礼申し上げます。

今後、同窓会橋会も80年・90年と紡いでいくためには、同窓会員一人一人の建設的な意見・提案が必要になるかと思えます。どうぞ、同窓会員をはじめ事務局員皆様の更なる活躍を心から祈ってご挨拶とさせていただきます。

頑張れ九州国際大学同窓会橋会!



学校法人九州国際大学
前理事長
權堂 健司
(I法 S50卒)

小生、權堂健司は令和7年6月27日をもちまして、学校法人九州国際大学理事長を任期満了により退任いたしました。八幡大学および九州国際大学の一員として50年4か月にわたり歩むことができたのは、教職員・役員・同窓会の皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

理事長就任時には「法人・大学・高校・中学は運命共同体である」を合言葉に掲げ、少子化が加速する厳しい環境の中で、学生確保と安定した経営基盤の構築を目指し、法人および各設置校のリーダーが毎月集まり議論を重ねてまいりました。その成果として、第4期中期経営計画「Beyondー可能性をカタチに」を始動させ、附属高校では不登校生徒への対応として通信制課程の設置準備を進めるほか、大学では看護学部および文理融合の情報工学部(仮称)の新設に向けた構想を進行中です。これらの取り組みは、地域社会に求められる教育機関としての役割をさらに高めるものと確信しております。

退任後は、九州国際大学橋会同窓会より顧問就任の要請を受け、学校法人と同窓会をつなぐ役割を担うこととなりました。今後は、同窓会と在学生の交流を深め、学園全体の活性化に寄与できるよう努めてまいります。

これまでのご支援に心より御礼申し上げるとともに、本学園が地域に必要とされ続ける学園として発展することを祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。



前副会長・前財務部会長
高木 格
(II法 S40卒)

私は10年間、財務部会長として務めてまいりました。私にとってはとても長く重い年月でした。

会計担当者が業務に不慣れであったため、収入・予算・決算、毎月の経費確認、財務部会、会計監査まで、実質的にはすべてを一人で行ってきました。選考委員長や会長に改善の申入れを幾度か行うも改善に至りませんでした。そんな中、誤りなく業務を全うすることができたことをとても幸いに思います。

今後は財務・会計体制の強化が同窓会発展のために不可欠であると感じています。

私は84歳となり、これからは穏やかにこれまでの道のりを顧みつつ過ごしてまいります。長年のご支援に心より感謝申し上げます。



前会計
山本 陽子
(短 S43卒)

同窓会橋会の三役会計を拜命してから2年5期が過ぎ、長いようであつという間の任期でした。この間、諸先輩方や事務局の皆様の温かいご指導とご配慮に支えられ、無事に務めを果たすことができましたことを心より感謝申し上げます。就任当時、同窓会館建設のために先輩方が集められた寄附金が残っていましたが、それでは同窓会会館建設には不十分な額で、また活用方針も定まっていない状況でした。このまま運営費の補填に充て続けられ、いずれ消えてしまう懸念もあります。

昨年の総会では、若い卒業生が北九州市内で起業する際の貸付制度として活用してはどうかとの意見も寄せられました。寄附金が未来の卒業生の力となり、地域への貢献につながるよう、今後の検討が進むことを願っております。

橋会の地域同窓会組織の拡充と今後益々のご発展を願っております。

長い間のご親交とサポート誠にありがとうございました。

2025年 九州国際大学同窓会橘会

大分県支部

開催日 令和7年2月15日(土) 参加者 11名(男性11)
開催場所 大分市「大分センチュリーホテル」



総会 権堂理事長より学校経営の状況について、櫻井学長より看護学部新設の案内や大学の偏差値に関する課題について報告がありました。廣瀬同窓会長、田村副会長からも同窓会の今後の取り組みについて説明がなされ、次第に沿って進行了しました。

懇親会 参加者全員が学生時代の思い出を交えながら近況を報告し合い、和やかな雰囲気の中で交流が深まりました。来賓の皆様からの報告も加わり、支部活動の意義を改めて確認する場となりました。

下関支部

開催日 令和7年2月22日(土) 参加者 34名(男性31・女性3)
開催場所 下関市「シーモールパレス」



総会 権堂理事長より大学の現状と今後の計画、櫻井学長より大学の課題と展望、廣瀬同窓会長より同窓会活動報告と奨学金制度について説明がありました。

講演会 現代ビジネス学部の山本雄三教授が学部の取組を報告し、2年生の児島陶治さんが少子化対策に関する活動を紹介しました。

懇親会 岡村顧問による挨拶・乾杯に始まり、学生自治会(辻委員長)や大学祭実行委員会(宮崎委員長)の活動報告が行われました。さらに「セイジ&渡辺かえ」によるライブ演奏で会場は大いに盛り上がり、最後は田村副会長、藤村支部長、学生代表による万歳三唱で締めくくられました。

長崎県支部

開催日 令和7年4月26日(土) 参加者 28名
開催場所 長崎市「サンプリエール」



権堂理事長、櫻井学長、廣瀬同窓会長をはじめ、ご来賓や近隣県からの参加者を迎え、盛会となりました。

総会 長崎県支部の現状として若い世代の会員が増えない課題が報告され、今後のあり方について議論がなされました。大学側からは、少子化による定員割の状況や推薦合格による学生確保の取り組み、看護学部の設置や情報工学部新設の構想などが示されました。また、学生の気質の変化に対応するため、新入生歓迎会やコミュニケーション支援、公務員プログラムなどの就職支援策が紹介されました。

懇親会 廣瀬同窓会長からは、同窓会の意義を理解し活動に参加してほしいと呼びかけがあり、乾杯の挨拶で懇親会がスタートしました。懇親会では、各テーブルで近況報告や自己紹介を交えた談笑が続き、長崎県支部の結束と近隣県との交流を深める場となりました。

関西支部

開催日 令和7年5月10日(土) 参加者 15名(男性15)
開催場所 大阪市東淀川区「ホテル新大阪」



総会 権堂理事長より法人としての現況と今後の方向性、櫻井学長より学生確保の仕組みや課題について報告がありました。廣瀬同窓会長、田村副会長、松尾副会長からは、同窓会の今後の関わり方やホームページ運営について説明がなされました。

懇親会 挨拶の後に参加者一人ひとりが現況を報告し合い、活発な意見交換が行われました。少人数ながらも内容の濃い交流の場となり、支部活動の結束が一層深まりました。

教職員支部

開催日 令和7年5月30日(金) 参加者 会員48名中14名
開催場所 北九州市八幡東区「九州国際大学 KIU食堂」



総会 総会では、権堂理事長より50年にわたる奉職の歩みが語られ、櫻井学長からは全国の同窓会支部に参加してきた経緯を踏まえ、私にとって「九国大は第2の母校」である旨述べられたことが紹介されました。廣瀬同窓会長からは「学生との交流が楽しみであり、教職員支部の活性化がとても喜ばしい」との挨拶がありました。議案はすべて承認され、令和7・8年度教育職員役員名簿も承認されました。

第2部では、宮武香織教授とゼミ生5名による「幼児教育から初等教育への英語音声学的指導法と実践の成果」と題した発表が行われました。花尾小学校での発音指導ワークショップ、済美保育園での授業補助、ハロウィンイベントでの絵本を使った指導など、具体的な活動成果が報告されました。

懇親会 懇親会では、参加者全員が自己紹介と学生時代の思い出を語り合い、和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深めました。

支部総会・支部だより

熊本県支部

開催日 令和7年6月7日(土) 参加者 36名

開催場所 熊本市中央区「メルパルク熊本」



支部創立25周年を迎え、権堂理事長、櫻井学長、廣瀨同窓会長をはじめ、九州各県や大阪・沖縄からも多くの卒業生が集い、盛会となりました。

総会 権堂理事長より少子化や他大学の早期推薦募集による定員割れの課題が報告され、新学部設立やSNS活用による魅力発信の取り組みが紹介されました。櫻井学長からも危機感を共有し、卒業生への一層の支援を呼びかけました。廣瀨同窓会長からは25周年を祝い、今後の支部活動への期待が述べられました。

講演会 ロアソン熊本社長の藤本靖博氏が「何故私がロアソン熊本の社長に!?」と題し、企業勤務からスポーツクラブ経営に至る経緯と現在の活動について語り、参加者の関心を集めました。

懇親会 藤井支部長の乾杯で始まり、余興では橋本幸一氏(長崎)の「杖道」映像紹介、吉田孝志氏(大分)の「別府首領」歌唱、高木勝一氏(熊本)の「バナナのたたき売り」口上などが披露され、大いに盛り上がりました。恒例の大学紹介動画やロアソン熊本応援歌も流れ、最後は学歌斉唱と万歳三唱で締めくくられました。沖田顧問の閉会挨拶、池上副支部長の言葉をもって、25周年の記念総会は和やかに終了しました。

関東支部

開催日 令和7年6月8日(日) 参加者 18名(男性16・女性2)

開催場所 東京都千代田区「アルカディア市ヶ谷 私学会館」



総会 鈴木支部長の司会進行で始まり、物故者3名への黙祷の後、今期活動報告・会計報告・来期活動計画案・役員改選が満場一致で承認されました。活動報告では、支部活性化のための継続開催やオフ会実施、他大学同窓会との情報交換が紹介されました。来期計画では「年1回の総会開催」「関東支部通信の継続発行と送付先拡大」「若手・女性参加拡大のためのオフ会開催」「メール配信による郵便負担軽減」などが示されました。川原顧問からは平成13年の支部総会復活の経緯について講話がありました。

講演会 マイクロソフト・チームリーダーのランジャン・アマット氏が「私たちの暮らしとAI」をテーマに、日常生活で知らず知らず利用しているAIや、より良い付き合い方について解説しました。

懇親会 岡田稔氏の乾杯発声で始まり、初参加者による自己紹介や合気柔術部・野球部OBの元気な近況報告で盛り上がりました。恒例のお楽しみ抽選会では「スターフライヤーグッツ」「資さんうどんグッツ」「小倉織ノート」などが用意され、参加者全員が楽しみました。最後は学歌斉唱、宮崎から参加の黒木氏によるエールで最高潮に達し、再会を誓って散会しました。

戸畑支部

開催日 令和7年7月19日(土) 参加者 17名(男性14・女性3)

開催場所 北九州市戸畑区「中山楼」



櫻井学長、廣瀨同窓会長、田村副会長、高木門司支部長をはじめ、近郊支部からも多くの来賓が出席されました。

総会 令和2年度から令和6年度までの活動報告・会計報告・監査報告が承認され、任期満了に伴う役員選任も満場一致で承認されました。コロナ禍を経て6年ぶりの開催となり、記念撮影も行われました。

懇親会 廣瀨会長の祝辞と乾杯で始まり、平成30年卒の倉光真央さんが会場運営を手伝うなど、和やかな雰囲気で行われました。特に「あか絵」による歌謡ショーでは、キーボード・ギター・ハーモニカ伴奏のもと8曲が披露され、オリジナル曲「おんがえし」や金沢顧問とのデュエットが大きな喝采を浴びました。アンコールでは参加者全員による「乾杯」の合唱が行われ、会場は最高潮に達しました。

最後は学歌斉唱、田村副会長の首領による万歳三唱、小倉支部副支部長須賀氏のエールで締めくくられ、二次会の案内をもって閉会しました。歌謡ショーを含む懇親会は大盛況となり、参加者にとって忘れがたいひとときとなりました。

福岡支部

開催日 令和7年8月3日(日) 参加者 15名(男性14・女性1)

開催場所 福岡市博多区「ちんぷんかんぷん博多店」



総会 令和7年6月に新理事長に就任した北村昌之氏より、済生会病院の新築移転や今後の九国大・付属高校の発展に向けた抱負が述べられました。櫻井学長からは、学生定員割れの現況報告と、看護学部新設・情報工学部設置・リモート対応など今後の大学の取り組みについて説明がありました。

懇親会 懇親会は廣瀨同窓会長、須賀理事らを立てて和やかに進行し、出席者全員による自己紹介と近況報告が行われました。初参加の方からは「今後も機会を見て参加したい」との声があり、コロナ禍を経て再開された支部活動の意義を改めて確認する場となりました。

士業支部

開催日 令和7年9月6日(土) 参加者 13名(男性12・女性1)

開催場所 北九州市小倉北区「リーセントホテル小倉」



総会 権堂顧問より前理事長の立場から学校法人の事務経過について報告があり、櫻井学長からは大学の現状、特に学生募集の状況について説明がなされました。廣瀨同窓会長からは看護学部新設に関する現状報告があり、今年度の事業計画と新役員について全員一致で承認されました。

講演会 阿多事務局長が「本学での資格取得への取組の意義について」をテーマに、資格試験合格を目指す学生の声を交えながら、学習方法論や本学での取り組みの意義について説明しました。

懇親会 田村副会長の乾杯挨拶で始まり、来賓の皆様からの言葉や交流を通じて盛会となりました。最後に柳田副会長からエールが送られ、和やかな雰囲気の中で閉会しました。

全国に点在する巨樹巡礼をライフワークとして長年取り組んできましたが、年齢的なこともあり最後の総仕上げの時期にきたと判断し、昨年は自家用車で九州を一回りし、次いで四国を駆け巡ってきました。今年は7月に2週間かけて北海道を一巡してきました。期待した涼しさに反し記録的な暑さには閉口しました。

北海道には40数年前日本通運の北海道統括支店次長として3年間勤務して土地勘もありましたが、町々の変わりようには少々戸惑いました。当時国鉄財政の赤字対策の目玉として、貨物取扱駅の集約化が全国的に実施され、北海道内に226駅あった貨物取扱駅196駅を廃止し30駅にするという驚天動地の改革案が示されました。貨物取扱駅には日通の店所がすべて配置されていました。駅集約で廃止となる店所の人と車をどう再配置するかの危急存亡の経営危機に直面し、これが解決のため廃止予定の196駅には何度も足を運びました。悪戦苦闘の日々でしたが、幸い全道全域を見る機会にも恵まれました。このような状況下ではライフワークの巨樹巡礼は封印せざるを得ませんでした。数年前巨樹巡礼1,000本達成時に記念のDVDを作成した折には北海道の巨樹は入っていません。いま2,000本達成を目前にしていますがその際は北海道の巨樹名木を含んだDVDを作成したいと思っています。



荻野吟子女史像と後方に顕彰碑

久しぶりの北海道紀行で是非見ておきたいものの一つとして、郷土出身である埼玉県三大偉人の一人で日本最初の女性医師荻野吟子の北海道での足跡を訪ねることでした。彼女が産婦人科と小児科の病院を開業したのは、北海道最西部の久遠郡せたな町にありました。旧国鉄瀬棚跡地に荻野吟子公園が造られ、その中心部に立派な荻野吟子女史顕彰碑と鹿鳴館スタイルの等身大の女史像が建っていました。せたな町生涯学習センター内には荻野吟子資料館も設立されており、町を挙げて荻野吟子が大切に扱われている様子が伝わってきました。

北海道根室市に本土最東端の納沙布岬があります。対岸は日本固有の領土でありながら長年にわたりロシアが実効支配している北方四島が横たわっています。一番近い貝殻島までの距離はわずか3.7kmです。肉眼でもハッキリ見えます。この海峡の中間点にかつて日本通運所属の蒸気貨物船が座礁し沈没していました。海面上に出ている船の煙突部分にある丸通マークが対岸でも見えたものです。北海道在動中にこの対応に追われた時がありました。当時のソ連との関係は厳しく、海峡で操業中の日本漁船が拿捕される事件が頻発するなど手も足も出ない状況下でした。今回は密かに船の存在の是非を確認したい思いもありましたが船は確認出来ませんでした。

稚内と樺太の大泊を結んだ稚泊航路の棧橋は1936年(昭和11年)に建設された防波堤で「稚内港北防波堤ドーム」として現存しています。本土と樺太との往来の激しかった頃を彷彿させます。古代ローマ風の半アーチ式回廊で見事な建造物です。天気の良い日にはかつて日本の領土であった樺太が望めます。



稚内港北防波堤ドーム

ソ連は80年前、日ソ中立条約を破って対日参戦しました。昭和天皇の玉音放送が流れた後も停戦に依らず、南樺太や千島列島、北方領土を奪っています。シベリア抑留、中国残留孤児、北方領土の不法占拠、長い月日を経ても癒えることのない痛みを残しました。まもなく3年半となるウクライナ侵略も、戦地での暴力や凌辱、領土の略奪という構図は少しも変わっていません。国と国との約束は破るためにあるというソ連の地金を、ロシアのプーチン大統領は忠実に引き継いでいます。国際社会にとって80年前の教訓はなお重いものがあります。

1855年(安政元年)伊豆下田で平和と友好のうちに、「日露通好条約」が結ばれました。この条約によって、歴史上初めて、日本とロシアの国境が択捉島(エトロフ島)と得撫島(ウルップ島)との間と決められました。択捉島から南の島々が我が国の領土であることが国際的にも明確にされたのです。

北方四島で一番近い貝殻島は納沙布岬から3.7kmということは前に触れました。森繁久弥が唄う国後島は知床から16kmです、肉眼で飛行機の発着が手にとるように見えます。条約の境界である択捉島は知床半島から110kmです。

一方北方領土を面積で見ると、歯舞群島は小笠原諸島と同じくらい、国後島は沖繩本島より大きい、択捉島は鳥取県と同じくらい、北方領土の全体では千葉県と同じくらいです。

1956(昭和31年)日ソ共同宣言が署名され、両国間に国交が回復されてから、すでに長い年月が経過しているにもかかわらず、2000年を目標としてきた平和条約がまだに締結に至っておりません。日・ロ両国間の真の関係改善のためには、早期に平和条約を締結し、四島の一括返還により領土問題を解決する必要があります。こんなに近くて大きい北方領土が当然わが国に帰属すべき領土であることを正しく認識し、しっかりと確認できたことは今回の北海道旅行での最大の収穫でした。

お陰様で事故もなく無事帰宅いたしました。87歳の体力テストは今回も合格です。まだまだ余力がある限り巨樹巡礼は続けたいと思っています。



人生と百人一首 大分県支部 松本 一夫 (Ⅱ法 S46年卒)

私はⅡ部法科・昭和46年(1971年)の卒業生です。小倉北方の陸上自衛隊で4年間勤務しながら通学しておりました。現在は、前職退職後、建設業許可や外国人の在留資格等を中心に行政書士業務を営んでおります。

近頃、年齢的に理解出来るようになったのか「百人一首」に興味を持ち、良く聞いたり読んだりしています。特に今一番お気に入りの和歌は、八十四番・「長らへば またこのごろや しのばれむ 憂しと見し世ぞ 今は恋しき」。

昔の詠人の気持ちか、妙に私の人生に置き換えられるのが絶妙だと思うからです。

「憂しと見し世ぞ」は、自衛官であり学生であった時代の4年間と前職の36年間働いた小売業での管理職時代です。

学生時代は、講義出席日数の問題=自衛隊の駐屯地外演習期間と通学可能日数、毎日の通学帰隊後の勉強時間=試験前は消灯後ベッドの中で毛布を被り、懐中電灯の灯かりを外に漏らさない様にして教科書や六法で試験勉強、一時期通学に自衛隊制服では問題があるのでは=時間に追われながら下宿で私服に着替え「なしか」と思いながらの通学。

前職時代は36年間「数多の憂しこと」が、掲げれば紙面が足りない位の事が有りました。行政書士資格取得を目指したのも「憂しこと」からの脱出が目的でした。年齢80年、「長らえてみれば」、「憂しこと(四苦八苦)」の何と多かつた事か、その時その時懸命に生き、家族を守り、自分を奮励して来た約80年でした。

今このうたをうたいながら浮かんでくるのは、何故か苦しき憂し時が「恋しく懐かしさ」に変わり、胸の奥にあついものがキューンとこみ上げてくるのです。

「百人一首」のこのうたにのせ、昔の思い出に浸っております今日この頃です。

卒業式

2024年度
九州国際大学 卒業証書・学位記授与式



日時: 令和7年3月20日(木・春分の日) 場所: 平野記念館

1. 開式の辞	卒業者数	
2. 国歌斉唱	大学院法学研究科	9人
3. 登壇者の紹介	法学部	
4. 卒業証書・学位記授与	法律学科	114人
5. 学長式辞	現代ビジネス学部	
6. 理事長祝辞	地域経済学科	207人
7. 卒業生表彰	国際社会学科	76人
8. 来賓祝辞	国際関係学部	
9. 在学生代表送辞	国際関係学科	1人
10. 卒業生代表答辞		
11. 学歌斉唱		合計 407人
12. 閉式の辞		

日時: 令和7年9月12日(金) 場所: KIUホール

1. 開式の辞	卒業者数	
2. 国歌斉唱	法学部	
3. 卒業証書・学位記授与	法律学科	5人
4. 学長式辞	現代ビジネス学部	
5. 学歌斉唱	地域経済学科	5人
6. 閉式の辞	国際社会学科	2人
		合計 12人

入学式

2025年度 九州国際大学 入学式



日時: 令和7年4月3日(木) 場所: 平野記念館

1. 開式の辞	入学者数	
2. 国歌斉唱	法学部	
3. 登壇者の紹介	法律学科	108人
4. 入学許可宣言	現代ビジネス学部	
5. 入学生代表宣言	地域経済学科	250人
6. 学長式辞	国際社会学科	79人
7. 理事長祝辞		合計 446人
8. 在学生代表のことば	大学院	
9. 入学生代表のことば	法学研究科	9人
10. 学歌斉唱		
11. 閉式の辞		

入学生代表宣誓

大学院法学研究科 泉 美恵子 さん
現代ビジネス学部国際社会学科 豊田 真一 さん

入学生代表のことば

現代ビジネス学部国際社会学科 須藤 結月 さん

在学生代表のことば

学生自治会執行委員会委員長 辻 萌々花 さん

橘祭

第71回
「共創飛翔」



橘祭で賑わうキャンパス内の図書館ラーニング commonsにて、日本伝統文化学術講演会(九州国際大学現代ビジネス学会・一般社団法人日本伝統文化未来機構 共同主催)が開催されました。講師に日本舞踊家の松浦光先生、映画・TVドラマプロデューサーの阿久根裕行先生、鼓奏者の望月太津三弥先生、日本舞踊家の坂東栄奈先生をお迎えし、お話を伺いました。

第二部は、来場者の皆様に日本舞踊の着物やかつら、鼓を手にとっていただき、様々な体験をしていただきました。締めくくりに松浦先生に三番叟をご披露いただき、お開きとなりました。

このたびは岸川弘典さん(2016年経済学部卒)に多大なご支援いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

サッカー部 入団会見を実施しました

1/7、九州国際大学にてブリオベッカ浦安・市川への入団発表会見を行いました。

田島峻生君・橋本淳史君の2名は、初めは緊張した様子でしたが、

「学んだことを活かし、地域に貢献できる選手に」

「一日も早くピッチに立てるよう頑張りたい」

と力強い意気込みを語ってくれました。

同窓会橘会・関東支部長の鈴木様より花束を受け取り、笑顔も見られる和やかな会見となりました。

今後の活躍を心より応援しています!

【入団内定者】

田島 峻生

(現代ビジネス学部
地域経済学科 4年)

橋本 淳史

(現代ビジネス学部
地域経済学科 4年)





サークル名	部員数	大会名	成績
硬式野球部	85名	令和7年度九州六大学野球連盟春季リーグ戦	4位
		令和7年度北九州地区大学体育大会硬式野球競技	準優勝
		令和7年度九州六大学野球連盟秋季リーグ戦	3位
		第33回 全九州大学野球選手権	ベスト8
ウエイトリフティング部	42名	第85回全日本ウエイトリフティング選手権大会	67kg級 酒井選手 4年(6位) 109kg級 安藤選手 2年(7位)
		第39回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会	59kg級 米増選手 4年(7位) 71kg級 下村選手 2年(6位)
		第71回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会	男子13名・女子5名出場 81kg級 細屋選手 4年(3位) 59kg級 米増選手 4年(3位) 102kg級 藤原選手 2年(1位) 71kg級 下村選手 2年(1位) 109kg級 安藤選手 2年(1位) 87kg級 長島選手 2年(1位) Jにおいて大会新記録樹立 S・J・Tにおいて大会新記録樹立
		第64回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会	団体得点179点 第1位
		第24回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会	団体得点77点 第4位
		2025東アジア選手権大会	110kg級 安藤選手 2年(3位) 69kg級 下村選手 2年(5位)
		第59回西日本学生新人ウエイトリフティング選手権大会	1年生8名出場 81kg級 浦松選手(1位) 81kg級 清水選手(3位) 96kg級 柳田選手(1位) 109kg級 塚本選手(3位) +109kg級 村田選手(1位)
		第17回西日本学生女子新人ウエイトリフティング選手権大会	59kg級 岩永選手 1年(2位) 64kg級 手登根選手 1年(2位)
		第79回国民スポーツ大会ウエイトリフティング競技会	男子7名・女子1名出場
		2025世界選手権大会	86kg級 長島選手 2年(5位) S108k ジュニア・大学新記録 J138k ジュニア・大学新記録 T246k ジュニア・大学・日本新記録
		第71回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(I部)	団体6位
第71回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)	団体7位 86kg級 長島選手 2年(1位) S109kジュニア・大学新記録		
バスケットボール部	37名	第30回全九州大学バスケットボール選手権大会	第5位
		第75回西日本学生バスケットボール選手権大会	ベスト36
		第32回全九州大学バスケットボールリーグ戦1部	第4位
		第77回全日本大学バスケットボール選手権	グループリーグ2位敗退
サッカー部	92名	第40回九州大学サッカーリーグ1部	第6位
		第49回九州大学サカートーナメント大会	ベスト8
		第20回インディペンデンスリーグ2025【九州】	Salire 下位トーナメント優勝 Monte 下位トーナメント準優勝
バドミントン部	25名	第7回九州大学サッカー新人戦	グループリーグ敗退
		第65回九州学生バドミントンリーグ戦大会	男子団体 1部 2位
		第74回九州学生バドミントン選手権大会	男子団体 優勝
		第65回西日本学生バドミントン選手権大会	男子団体 3位
		第76回全日本学生バドミントン選手権大会	出場
剣道部	35名	第64回中国四国九州学生バドミントン選手権大会	男子団体A 優勝・3位
		第73回全日本学生剣道優勝大会	1回戦敗退
		第72回九州学生剣道優勝大会	男子団体3位
		第48回九州女子学生剣道優勝大会	女子団体2回戦敗退
		第70回西日本学生剣道大会	男子団体2回戦敗退
柔道部	11名	第40回西日本女子学生剣道大会	女子団体2回戦敗退
		2025年度 九州学生柔道優勝大会	2部 3位
陸上競技部	7名	2025年度 九州学生柔道体重別選手権大会	出場
		第95回九州学生陸上競技対校選手権大会	男子5000m 福本 遼祐(2) 17:35.87 永津 仁 (2) 17:19.72
		第53回九州学生陸上競技選手権大会	男子1500m 赤澤 諒一(3) 4:20.39 男子5000m 赤澤 諒一(3) 16:34.95 永津 仁 (2) 17:26.21
		第43回九州学生駅伝対校選手権大会	福岡・沖縄連合 第3区(8.27km)赤澤 諒一(3) 29:11(区間16位) 第4区(9.38km)西中 志暢(4) 35:44(区間8位)

奨学生選考について

奨学生代表あいさつ

奨学生代表 長島 和奏

このたびは、奨学金のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

また、ご多忙の中、このような素晴らしい式を開いていただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

私たちにとって奨学金のご支援は、日々の学びや活動に前向きに取り組む大きな励みとなっています。

私自身、学業に励むとともに、将来は社会に貢献できるよう努めてまいります。

また、サークル活動では「オリンピックに出場し、メダルを獲得する」という目標を掲げています。こうして夢を追いかけられるのも、日頃より支えて下さる同窓会の皆様のおかげです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

今後も感謝の気持ちを忘れず、勉学にもスポーツにも全力で取り組み、皆様に恩返しできるよう努力してまいります。

本日は誠にありがとうございました。



2025年度 奨学金認定者 20人

氏名	院・学部	学科	学年
秋山 伊野	現代ビジネス	国際社会	3年
安藤 周粋	現代ビジネス	地域経済	2年
浦松 龍誠	法	法律	1年
上川 大護	現代ビジネス	国際社会	2年
楠 大輝	法	法律	2年
佐藤 圭悟	法	法律	3年
下村 愛里	現代ビジネス	地域経済	2年
瀧口 貴一	法	法律	2年
田中 元氣	現代ビジネス	地域経済	3年
徳永 あづ美	現代ビジネス	地域経済	3年

氏名	院・学部	学科	学年
豊田 真一	法	法律	1年
長島 和奏	現代ビジネス	国際社会	2年
平野 良誠	現代ビジネス	地域経済	1年
ポーリ ありあ	法	法律	1年
山里 美月	現代ビジネス	国際社会	2年
吉田 有志	現代ビジネス	地域経済	4年
和田 実桜	現代ビジネス	国際社会	3年
CHU THI KIM TRINH	現代ビジネス	国際社会	4年
NGUYEN THI QUY	現代ビジネス	地域経済	2年
TA THI THU	現代ビジネス	地域経済	4年

終身会費納入者

2025年度(2024年8月~2025年7月)

終身会費納入者(完納) 9人 ※個人情報に関する取扱いのため、住所は支部までといたします。

終身会員No.	卒業年	学部	学科	氏名	所属支部
1314	S38	Ⅱ経	経営経済	飯盛 喜司男	福岡
1315	S52	I法	法律	酒見 昭一	佐賀県
1316	S56	I経	経営	吉岡 紀郎	下関
1317	S61	I法	法律	寺町 大作	福岡
1318	S44	I経	経営経済	渡辺 通弘	関東

終身会員No.	卒業年	学部	学科	氏名	所属支部
1319	S40	I経	経営経済	瓜生 誠	筑豊
1320	S57	I法	法律	秋川 雅信	関西
1321	H11	I法	法律	栗野 龍也	佐賀県
1322	S55	I経	経済	立部 靖	八幡

終身会費納入のお願い(財務部会) 同窓会活動財政基盤の一層の強化を図るため、終身会費の納入をお願い致します。納入された方には記念品を送付いたします。

納入額/15,000円

納入は下記へ。その際、振込用紙に所属支部名をご記入ください。(これは該当支部への助成金給付の資料とします。)現金でのお振込の際、払込人様に110円の負担がございます。

〒805-8513 北九州市八幡東区平野2丁目5番1号
 学校法人九州国際大学 平野記念館内九州国際大学同窓会橘会 事務局
 ☎093-661-4530 ※勤務(月~金・9時~17時)

■同窓会費(終身会費)について
 平成10年4月以降に入会された学生様には、在学中に会費を納入いただいておりますので終身会費15,000円の納入の必要はありません。

募 金 募 集 要 項

目標額	1億円
使 途	<p>学生・生徒のみなさまの夢を実現するため、皆様からいただいた浄財を下記の8項目の支援内容の費用に充当させていただきます。</p> <p>寄附金の使途指定の申込みも可能です。(寄附金申込書でご指定ください)</p> <p>1 教育・研究サポート 2 就職・進学サポート 3 地域連携サポート 4 国際人材育成サポート 5 課外活動サポート 6 施設・設備拡充サポート 7 使途指定募金サポート 8 指定なし(教育研究活動に充当)</p>
期 間	2028年3月31日まで
金 額	<p>1 個人の皆様 1口 10,000円</p> <p>2 法人、団体の皆様 1口の金額の定めはございません。金額の多寡にかかわらず、ありがたくお受けいたします。複数口でご寄附いただけると幸いです。</p>
お申込方法	<p>1 個人の皆様</p> <p>書面 銀行・郵便局(指定の振込用紙<兼寄附申込書>を使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「払込用紙(兼寄附申込書)」がない場合は、法人事務局寄附金担当までご請求ください。 ●指定銀行窓口(福岡銀行、西日本シティ銀行、福岡ひびき信用金庫、郵便局<ゆうちょ銀行>)での指定の振込用紙によるお振込の場合は手数料はかかりません。 ●ATMでお振込の場合の手数料は、寄附者負担となります。本法人WEBサイトをご確認の上お申し込みください。 <p>WEB(推奨) クレジットカード コンビニ決済 インターネットバンキング(Pay-easy)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本法人WEBサイトよりお申し込みください。
	<p>2 法人の皆様</p> <p>お申し出により必要書類をお送りしますので法人事務局寄附金担当までご連絡ください。 なお、寄附金は次の2種類からお選びください。</p> <p>(1) 特定公益増進法人寄附金(一定の限度額まで損金に算出できる寄附金) (2) 受配者指定寄附金(全額損金に算出できる寄附金)</p>
寄附金に対する税制上の優遇措置	<p>1 個人の皆様</p> <p>確定申告の際に、下記の計算による金額を寄附者の「総所得金額」から「寄附金控除」として、控除できます。(所得税法第78条第2項第2号)</p> <p>当該年度中に支出した寄附金の額 - 2,000円 = 寄附金控除額(総所得金額の40%が上限)</p> <p>また、本学を「寄附金税額控除対象法人」としている自治体にご住所を有する方は住民税の寄附金控除が受けられる場合があります。詳しくは最寄りの税務署・市役所などにお問い合わせください。所得税控除の手続きは、ご寄附いただいた年の翌年の確定申告期間に、本学より郵送いたします「本学発行の領収書」と「特定公益増進法人証明書」(写)を添えて所轄税務署に確定申告を行ってください。</p> <p>2 法人の皆様</p> <p>特定公益増進法人に対する寄附金として、特別損金算入限度額まで当該事業年度の損金に算入することができます。また、日本私立学校振興・共済事業団を通じた「受配者指定寄附金」制度により、寄附金全額を当該事業年度の損金に算入することも可能です。</p> <p>個人・法人の税法上の優遇措置(寄附金控除)、寄附申込書書式等につきましては、本法人WEBサイトをご参照ください。</p>
その他	<p>ご寄附いただいた皆様のご芳名は、本法人WEBサイトに掲載させていただきます。(掲載をご希望されない方は、寄附申込書にてご連絡ください)。なお皆様の個人情報につきましては、法令どおり厳正に取扱い、寄附金業務以外には使用いたしません。</p>

お問い合わせ先

学校法人 九州国際大学 法人事務局寄附金担当

〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号

TEL:(093)671-8900 FAX:(093)671-9032 <https://www.kiu.ac.jp/hq/contribution/>

E-mail:kifu@office.kiu.ac.jp



九州国際大学 募金

検索

納入者ご芳名 (2018.1.1~2025.12.31)

2025年12月31日現在 (敬称略)

(単位:円)

	寄附金額	氏名		寄附金額	氏名		寄附金額	氏名
1	4,000,000	<small>(株)稲葉機工</small> 片伯部 公吉	42	30,000	原 慎一郎	83	10,000	瑞木 一博
2	4,000,000	片伯部 公吉	43	30,000	三谷 勝治	84	10,000	菅野 忠幸
3	1,600,000	伊波 邦彦	44	30,000	米倉 正廣	85	10,000	須部 純範
4	1,400,000	岡村 聖爾	45	25,000	真子 信裕	86	10,000	高田 晃浩
5	1,030,000	谷口 智章	46	20,000	飯盛 喜司男	87	10,000	高橋 元
6	600,000	金沢 昌白	47	20,000	江藤 英	88	10,000	竹本 宜義
7	500,000	廣瀬 正登	48	20,000	宇都宮 紀仁	89	10,000	立石 隆
8	400,000	白川 十郎	49	20,000	瀧本 弘	90	10,000	田村 静夫
9	380,000	<small>(株)アートライフ</small> 今西 啓介	50	20,000	中村 繁子	91	10,000	田村 満穂
10	360,000	教樂木 由信	51	20,000	花堂 博志	92	10,000	辻本 一夫
11	300,000	今西 啓介	52	20,000	藤野 弘文	93	10,000	時松 尚良
12	300,000	衛藤 英夫	53	20,000	松清 英行	94	10,000	中迫 貴博
13	300,000	田中 伸敏	54	10,000	安高 壽	95	10,000	中山 耕一
14	235,000	西森 敬高	55	10,000	有村 綾子	96	10,000	中山 千秋
15	110,000	新上 健一	56	10,000	有吉 和憲	97	10,000	中 庸三
16	110,000	武井 義雄	57	10,000	石田 秀樹	98	10,000	成重 繁俊
17	100,000	猪本 彦司	58	10,000	稲生(哲也)豊子	99	10,000	野崎 政憲
18	100,000	上原 正行	59	10,000	稲田 享	100	10,000	橋本 久雄
19	100,000	<small>(株)九州FP事務所</small> 藏前 雅之	60	10,000	井上 拓二	101	10,000	林 好太郎
20	100,000	白石 透	61	10,000	岩武 孝泰	102	10,000	廣石 勝
21	100,000	田原 明	62	10,000	宇都宮 紀仁	103	10,000	廣寄 治平太
22	100,000	西澤 竹之	63	10,000	海野 晋郎	104	10,000	藤原 和敏
23	100,000	中丸 省二	64	10,000	瓜生 誠	105	10,000	古澤 栄一
24	80,000	高濱 直規	65	10,000	大石 真澄	106	10,000	前田 祐助
25	50,000	飯田 裕	66	10,000	太田 和則	107	10,000	松岡 信一
26	50,000	奥西 真弘	67	10,000	大谷 義隆	108	10,000	美川 嘉哉
27	50,000	下田 一義	68	10,000	大坪 幸則	109	10,000	三木 孝治
28	50,000	丹波 正丸	69	10,000	大林 渡	110	10,000	諸沢 清光
29	50,000	松井 四郎	70	10,000	合馬 節雄	111	10,000	八木 信子、ナカ子
30	50,000	山口 一巳	71	10,000	加藤 典裕	112	10,000	山本 喜行
31	50,000	米村 國男	72	10,000	川島 昌隆	113	5,000	金川 敏治
32	40,000	鴨田 達己	73	10,000	川濱 賢治	114	5,000	川辺 幸一
33	35,000	柳田 昌男	74	10,000	川邊 幸一	115	5,000	原(和司)肇美
34	30,000	荒武 晋	75	10,000	草賀 裕一	116	5,000	村上 泰子
35	30,000	小野 元次	76	10,000	黒木 茂成	117	3,900	山木 健史
36	30,000	木村 忠夫	77	10,000	児玉 実隆	118	3,000	長畑 哲
37	30,000	栗野 龍也	78	10,000	小松 伸也	119	3,000	末並 和人
38	30,000	釵木 純一郎	79	10,000	坂本 頼弘	120	2,000	大本 貴司
39	30,000	佐藤 博勝	80	10,000	指方 良典	121	2,000	板崎 孝昭
40	30,000	津村 頼夫	81	10,000	清水 茂範			
41	30,000	寺井 博教	82	10,000	神力 潔司			

ご芳名の公開を希望されない皆様からの寄附金(109件・2,355,800円)を含め、大学同窓会員の皆様から、合計307件・19,531,000円(2025年12月31日現在)を頂戴いたしております。

引き続き皆様方の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

なお、寄附金関係のお問い合わせは、九州国際大学法人事務局寄附金担当(093-671-8900)までお願いいたします。

九州国際大学同窓会 橘会 各支部支部長名簿

支部名	支部長	支部名	支部長	支部名	支部長
関東支部	鈴木 裕之	八幡支部	山脇 直祐(代行)	大分県支部	江藤 英
関西支部	白石 透	戸畑支部	西澤 竹之	佐賀県支部	白川 十郎
橘会山陽支部	梶田 泉治	若松支部	小林 明美	長崎県支部	森 成生
広島県支部	宮崎 真	福岡支部	長谷阪 昇次	熊本県支部	藤井 慶峰
山口支部	小山 豊	京築支部	白石 学	宮崎県支部	黒木 正章
下関支部	藤村 篤司	筑豊支部	高田 晃浩	鹿児島県支部	鞘脇 賢一
門司支部	柳田 浩司	遠賀支部	小河 剛	士業支部	小野 純司
小倉支部	泉 日出夫	宗像支部	米山 信	九州国際大学教職員支部	森脇 真司

編集後記



本号も最後までご覧いただき、誠にありがとうございました。

橘会の活動を通じて、世代を超えた交流や支部の取り組みが着実に広がっていることを改めて感じます。会員の皆さまの温かいご支援とご参加に、心より感謝申し上げます。

今回の会報では、各地の活動や記念行事をお届けしましたが、その根底にあるのは「変らぬ想い」です。母校や仲間への誇りと絆は、時を経ても揺らぐことなく続いています。そしてその想いが、新しい企画や若い世代の参加を呼び込み、「広がる未来」へとつながっていくのだと実感しています。

次号では、さらに多彩な記事やインタビューを予定しております。橘会がこれからも会員一人ひとりの心を結び、未来へと歩みを進める場となるよう、編集部一同努めてまいります。

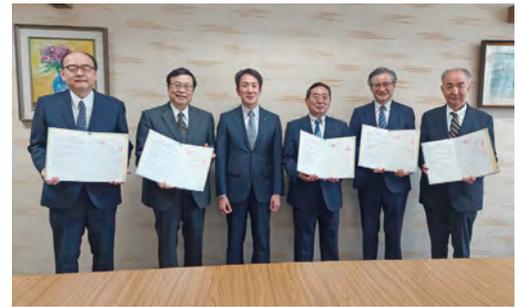
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

広報部一同

九州国際大学 看護学部設置構想 および 地域内4大病院との「包括地域連携協定書」締結のお知らせ

学校法人九州国際大学は、2025年(令和7年)6月23日(月)に、社会医療法人製鉄記念八幡病院、社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院、地方独立行政法人北九州市立病院機構北九州市立八幡病院、独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院との間で、「看護学部設置・運営に関する包括地域連携に関する協定書」を締結しました。

この協定書は、九州国際大学と地域内4病院とが、包括的な連携のもと、それぞれの人的・知的・物的資源、機、施設整備等の活用を図りながら、看護職養成に係る教育・研究について交流・連携を推進し、地域社会の発展に寄与することを目的としています。



卒業年次生 在校生の声

- Q1 九国大に入ってよかったこと
Q2 大学でチャレンジしたこと
Q3 卒業後の進路について
Q4 あなたにとっての同窓会のイメージ

現代ビジネス学部 地域経済学科 井町 樹里人



卒業
年次生

- A1 九州国際大学での学びを通して、社会の出来事を自分の問題として考える力が身につきました。現代ビジネス学部の授業では、日常やニュースと結びつけながら学ぶ機会が多く、視野を広げることができたと感じています。
- A2 大学では、ゼミ活動の一環として移動芸術学校(歌舞伎イベント)の企画と運営に挑戦しました。一般社団法人日本伝統文化未来機構の方と協力し、大学周辺の中学校の生徒さんを対象に、歌舞伎俳優の方を講師に招いた特別授業を実施しました。私は準備から当日の運営までを担当し、実践を通して多くの学びを得ることができました。
- A3 卒業後は、営業職として就職します。大学で身につけたコミュニケーション力や、相手の立場に立って考える姿勢を生かし、信頼される社会人を目指していきたいです。
- A4 私にとって同窓会は、卒業してからも原点に立ち返ることができ、大学での学びや出会いを再確認できる場だと思います。同窓会を通して、九州国際大学で過ごした時間の価値を改めて感じられることを期待しています。

法学部 法律学科 大野 昞聖

在学生

- A1 九国大に入ってよかったことは学生同士で切磋琢磨しながら学びを得ることができ、交流を深めることができたことです。
- A2 大学ではボランティア活動にチャレンジしています。この活動によって自分の視野を広げることができるといいますし、様々な人と交流ができるためチャレンジしています。
- A3 卒業後の進路は自分はまだ1年生なので細かくは決まてはいませんが、人と人を繋げていけるような人になって社会に役立つことのできる人になりたいと考えています。
- A4 自分が思っている同窓会のイメージは、仲がよかった人たちに会って近況報告するような場所だと捉えています。また、社会人になってそれぞれが視野が変わっていると思うので様々な話を聞くことができ、それを活かして自分自身をレベルアップできるような場所でもあったと考えます。

法学部 法律学科 小西 希花



卒業
年次生

- A1 年次からゼミに所属できるところが、いちばんの魅力です。ゼミでは専門的な知識を深く学ぶことができ、また多くの友達と出会うことができました。
- A2 ゼミで地域を活動する時、より分かりやすいプレゼンテーションを行うために、パワーポイントの作成を一から工夫して取り組んだことです。
- A3 大学生生活を通して、人の成長に関わることができたときの喜びを実感しました。その経験が就職活動の軸となり、教育系の仕事に内定をいただくことができました。
- A4 私にとって同窓会は、進学や就職後、なかなか会えなくなった学友と再び出会うことができる大切な場所です。

現代ビジネス学部 国際社会学科 田島 颯史



卒業
年次生

- A1 宮武ゼミに入ったことです。毎日ゼミ活動に取り組み、常にゼミの事が頭にありました。
- A2 宮武ゼミでの英語音声学の研究です。卒業論文の文字数に収まらない程書きたい事が沢山あります。
- A3 商社に入社予定です。将来は海外に駐在し海外で働きたいです。
- A4 九国大をサポートしてくれる、頼りになる存在だとも思います。

法学部 法律学科 藤村 寛太



在学生

- A1 明確に夢が決まったことです。私がまだ将来何をするか迷っていた時に、先輩や先生方の支えとアドバイスのおかげで、将来の夢を明確にすることが出来ました。
- A2 資格取得に向けての勉強です。宅地建物取引士試験に合格したことを土台にし、行政書士や司法書士に在学中に合格したいと考えております。
- A3 今年の司法書士試験に合格することができたら、司法書士事務所です仕事をしたいと考えています。司法書士になることができれば、依頼者のために精一杯、仕事をしたいと思っています。
- A4 同窓会の諸先輩方から多くのことを学ばせてもらったので、自分もこれからの後輩たちのために頑張りたいです。

通った！遊んだ！この街、この風情。大学周辺地域



多くの卒業生にとって思い出深いJR八幡駅と枝光駅。
 平成元年に「九州国際大学」と名称を改め、八幡駅前の平野学舎へ移転した母校は、南国の風情が漂うピロー樹の街並みを抜けて国際通りを挟んで徒歩6～7分の場所にあります。
 旧八幡大学の高台から望むことができた洞海湾の夜景は見えなくなりましたが、皿倉山のふもとに広がる閑静な環境の中で、後輩たちはそれぞれの夢に向かって日々学びを深めています。
 近年、平野キャンパス周辺では新しい商業施設や店舗の出店が相次いでいます。大学の近くにも、学生や卒業生にとって身近で利用しやすい人気店が増えました。スターバックス、ワークマン、モスバーガーなど、日常的に立ち寄れる店舗が揃い、地域の利便性が一段と高まっています。これらの店舗の登場により、在学生の生活環境はより快適になり、卒業生が母校を訪れる際にも気軽に立ち寄れるスポットが増えました。
 帰省や母校訪問の折には、ぜひ“今”の街の表情を感じてみてください。
 懐かしさの中に、新しい発見がきっとあるはずです。



会員の皆様のお越しをお待ちしております

総会日程のご案内

- 日時** 2027年10月16日(土) 16時30分～
- 場所** (仮)「JR九州ステーションホテル小倉」
- 内容** 総会・懇親会

今後の支部総会等の予定

- 筑豊支部総会 2026年4月18日(土) 16:30～ のがみプレジデントホテル
- 関東支部総会 2026年6月6日(土) 16:00～ アルカディア市ヶ谷(私学会館)
- 宮崎県支部総会 2026年7月4日(土) 17:00～ ホテルメリージュ
- 全国支部長会議 2026年7月11日(土) 13:00～ 九州国際大学 KIU食堂



発行 九州国際大学同窓会 橋會 事務局

〒805-8513 北九州市八幡東区平野2丁目5番1号 学校法人九州国際大学 平野記念館内

TEL093-661-4530 FAX093-661-5032

E-mail: tachibana-kai@office.kiu.ac.jp

九州国際大学同窓会橋會ホームページ <https://kiu-tachibanakai.com/>

